

東京都の心身障害教育の現状と課題

個別指導計画に基づく個に応じた指導を実施

- 盲・ろう・養護学校 (p4)
- ・都立盲・ろう・養護学校 56校1分校 7,473名
- ・区立養護学校 5校 203名
- 小・中学校の心身障害学級 (p11)
- ・固定学級・通級学級 1,149学級 8,045名

課題

- ・児童・生徒の障害の重度・重複化、多様化
- ・盲・ろう学校の在籍者減と養護学校(知)の在籍者増
- ・教員の専門性の向上と外部の専門性の活用
- ・心身障害学級と通常の学級の連携
- ・乳幼児期からの一貫した支援体制の構築
- ・社会参加・自立に向けた教育の充実
- ・地域と結びついた専門的な教育の充実
- ・学校経営の改善 等 (p4)

都独自の教育環境・社会環境

- ・盲・ろう・養護学校や小・中学校の設置状況
- ・対象児童・生徒数
- ・医療・福祉等関係機関の設置状況
- ・通信・交通網の状況
- ・既存の心身障害教育体制

障害のある子どもたちの教育を巡る諸情勢の変化

- ・ノーマライゼーションの進展
- ・医療・科学技術の進歩
- ・ライフステージに応じた支援体制の構築
- ・障害者基本計画及び新障害者プラン (p1)

都独自の状況を踏まえた改善の推進(p2)

障害のある子どもたちの新しい教育の方向

小・中学校のLD、ADHD、高機能自閉症を含む障害のある児童・生徒に対する新たな「特別支援教育」体制の構築

文部科学省全国調査(H14.2~3) 小・中学校の通常の学級の児童・生徒で学習面や行動面で著しい困難を示す者 6.3% (p12)

改善の理念

障害のある幼児・児童・生徒等の特別な教育ニーズにこたえ、一人一人の能力や可能性を最大限に伸長する多様な教育を展開する。

改善の指針

障害の重度・重複化、多様化に対応するためLD等を含む障害のある子どもたちの個に応じた指導を充実し「特別支援教育」を推進

児童・生徒の特別な教育ニーズに対応するため、都と区市町村が連携し、地域の実情に応じた「特別支援教育」体制を充実

児童・生徒等の教育ニーズに応じた専門的指導を充実するため、学校の専門性と教員の資質・専門性を向上

児童・生徒等の多様な教育ニーズに対応するため、教育環境の整備を推進 (p16)

改善のためのグランドデザイン

~エリア・ネットワーク構想~

地域(エリア)ごとに教育、医療・保健、福祉、労働等の関係機関の連携による支援体制(エリア・ネットワーク)を築き、東京都独自の社会環境、教育環境を踏まえた迅速で総合的な支援を行う。 (p19)

改善の方向